

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	鶴見区
学　校　名	大阪市立茨田西小学校
学校長名	岡村　幸生

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立茨田西小学校では、第6学年 105名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

○平均正答率について、国語は、大阪市平均より+1.0ポイント上回り、全国平均とは同値の結果であった。算数は、大阪市、全国平均より+3.0ポイント上回る結果であった。理科は、大阪市平均より+1.0ポイント上回ったが、全国平均より-1.0ポイント下回る結果であった。

○平均無回答率について、国語は、大阪市平均より-0.5ポイント、全国平均より-1.0ポイント下回る結果であった。算数は、大阪市平均より-1.5ポイント、全国平均より-1.9ポイント下回る結果であった。理科は、大阪市平均より-1.2ポイント、全国平均より-1.0ポイント下回る結果であった。本校児童の無回答率は、大阪市平均・全国平均ともに少ない結果となっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語] 学習指導要領の内容別にみると、どの領域においても大阪市平均・全国平均を僅かであるが下回る結果となった。一方、「B.書くこと」においては、大阪市平均を+3.4ポイント、全国平均を+1.0ポイントと大きく上回ることができた。昨年度までは、必要な情報を取捨選択し、自分の考えを筋道立てて書くことに課題が見られたが、研究教科を国語科の表現力の育成に据え、要約する力や表現する力の育成に取り組んできた成果が「書く力」につながってきたと考える。

[算数] 学習指導要領の領域別にみると、どの領域においても大阪市平均・全国平均ともに上回る結果となった。特に「B.図形」「C.測定」「C.変化と関係」においては、大阪市平均・全国平均ともに+5.5~7.6ポイントと大きく上回り、基礎・基本を確実に習得できている。無回答率が低く、問題解決に向け、粘り強く取り組んでいることも成果につながった。

[理科] 学習指導要領の領域別にみると、「エネルギー」を柱とする領域以外は大阪市・全国平均とも上回る結果となった。特に記述式の問題に対する正答率が大阪市平均・全国平均ともに+5.0ポイント以上大きく上回った。国語と同様に「書く力」「考える力」が身についてきている。

質問調査より

【安全・安心な教育の推進】として年度目標に掲げた「学校へ行くのが楽しい」「自分にはよいところがある」「いじめは、どんな理由があってもいけない」において肯定的に回答している児童の割合は、すべてにおいて全国平均を上回る結果となった。特に「いじめは、どんな理由があってもいけない」に関しては昨年度を大きく上回り、肯定的な回答がほぼ100%であった。「いじめ」に関する指導を強化するとともに人権教育などの日々の取り組みによる結果であると考える。今後もさらにこの状態を維持できるように、児童一人一人の良さを見つけ・認める教育活動に努めていく。

【未来を切り開く学力・体力の向上】として年度目標に掲げた「友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする」において最も肯定的な回答は大阪市や全国平均を上回った。また「授業に内容がよくわかる」において肯定的な回答は国語・算数ともに80%を上回り、個に応じたきめ細やかな指導や支援の成果が表れている。

【学びを支える教育環境の充実】として学習者用端末の活用を授業に取り組むことを年度目標に掲げている。本学年は「心の天気」を入力する習慣が定着している。また、さまざまな教科において学習者用端末を活用した授業をほぼ毎日行っており、ICTを効果的に活用できている。

今後の取組(アクションプラン)

- ①「自己肯定感」「人権意識」「仲間づくり」「社会貢献」など各学年でテーマを決めて、人権教育の年間指導計画を立て、計画的に人権教育を実施している。『ゲストティーチャーによる豊かな体験活動を取り入れた教育』として人権教育とキャリア教育を統合的にとらえ実践を進めている。友だちのいいところを見つけて伝え合ったり、児童一人一人の良さを認め合ったりすることで、児童の「自尊感情」が高まり、「いじめ」がゼロになるように指導を続けていく。
- ②今年度より「総合的読解力育成カリキュラム」の「要約する力」に重点を置いて研究を行っている。これは自分の考えを整理したり、相手の思いを理解したりすることにも効果が発揮される。昨年度までの表現する力の育成に加え、今年度の研究の取り組みにより、表現力のさらなる育成につながると期待できる。今回の無回答率が極めて低い結果は、これまでの取り組みの成果である。
- ③授業において学習用端末の活用率は年々上昇している。さらに児童自らが主体的に学ぶ力の育成を目指すためにも学習用端末を家庭学習に取り入れ、調べ学習やデジタルドリル等にも重点を置いて取り組んでいく。

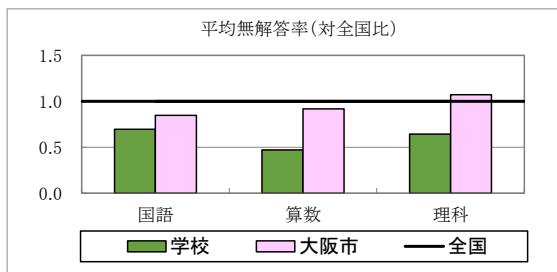
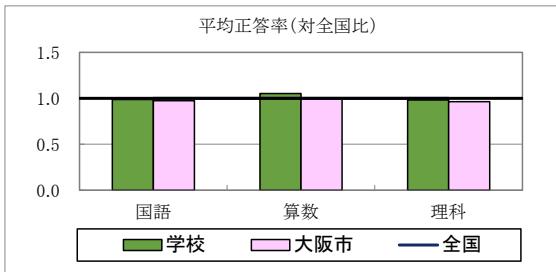
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	66	61	56
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.3	1.7	1.8
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

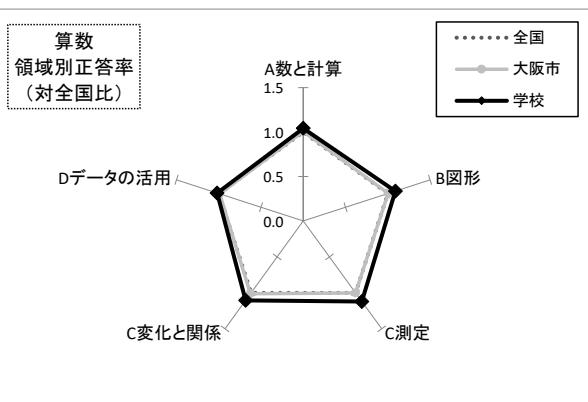
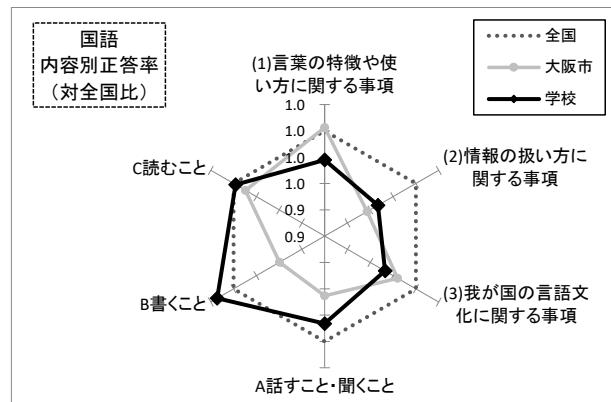
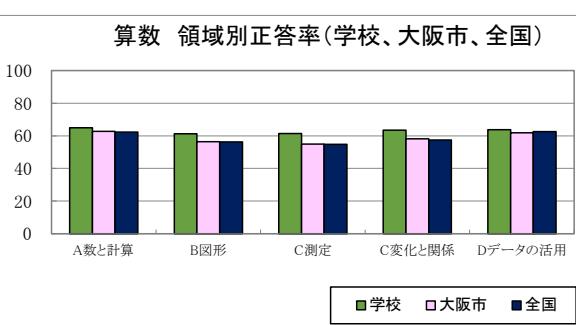
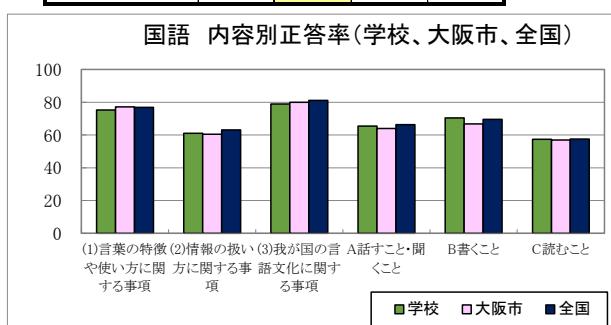


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	75.2	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	61.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	79.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	65.4	64.0	66.3
B 書くこと	3	70.5	66.7	69.5
C 読むこと	4	57.4	56.9	57.5

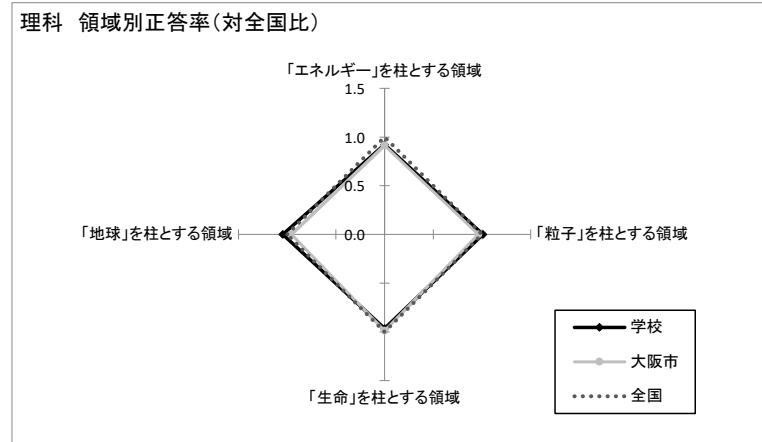
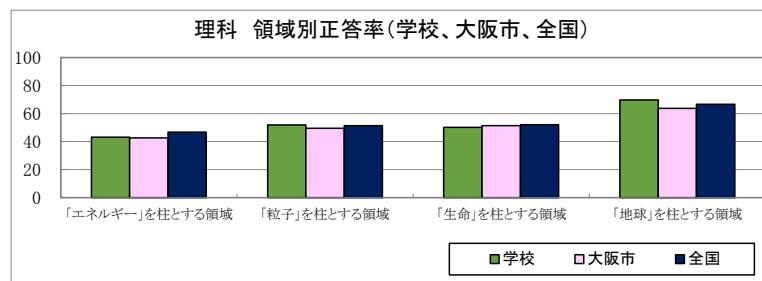
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.9	62.7	62.3
B 図形	4	61.2	56.4	56.2
C 測定	2	61.4	54.9	54.8
C 変化と関係	3	63.5	58.2	57.5
D データの活用	5	63.8	61.9	62.6



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	43.1	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	51.9	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	50.2	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	69.7	63.8



児童質問より

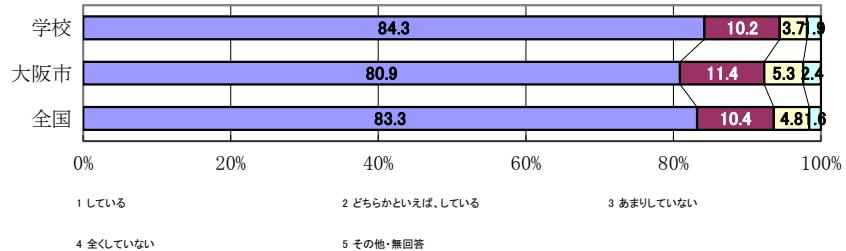
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

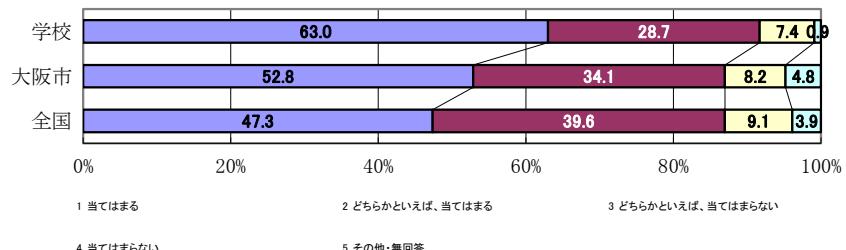
1

朝食を毎日食べていますか



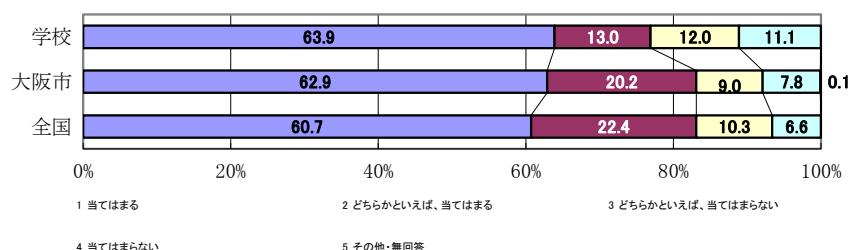
5

自分には、よいところがあると思いますか



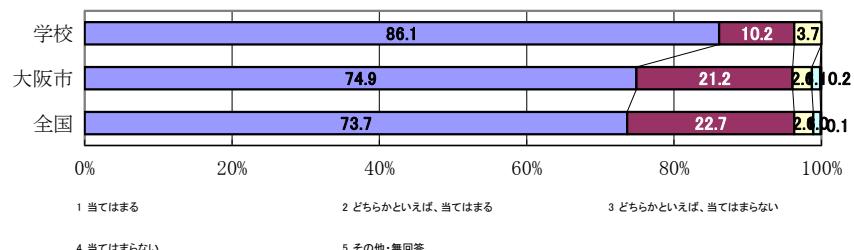
7

将来の夢や目標を持っていますか



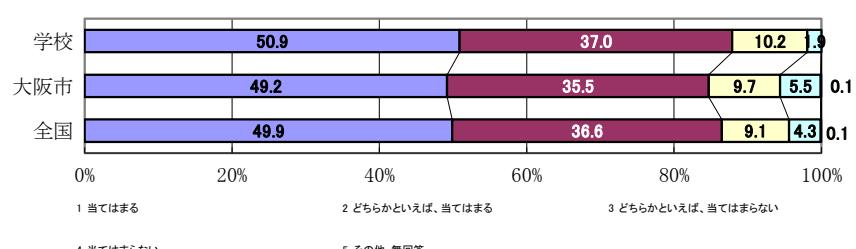
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



学校質問より

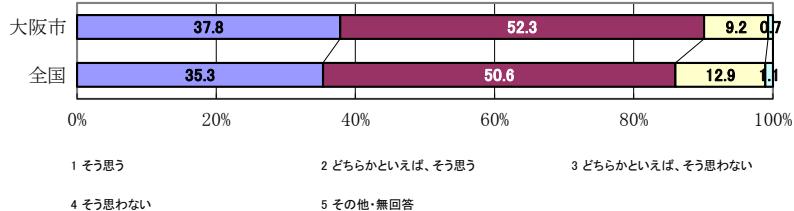
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

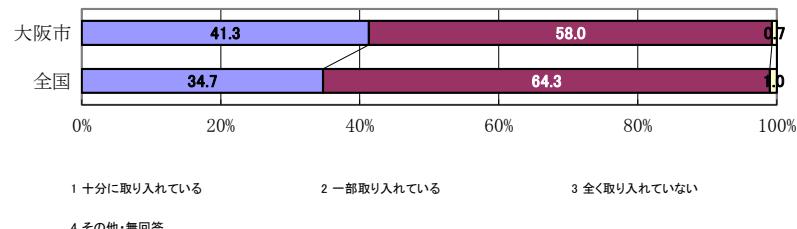
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

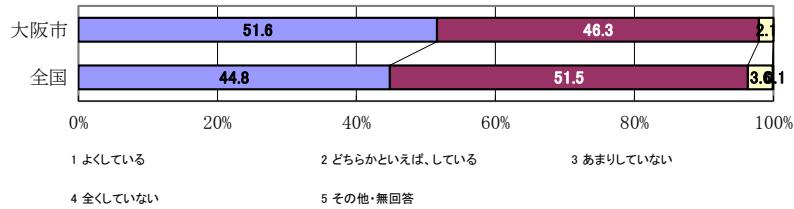
学校 「一部取り入れている」を選択



17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

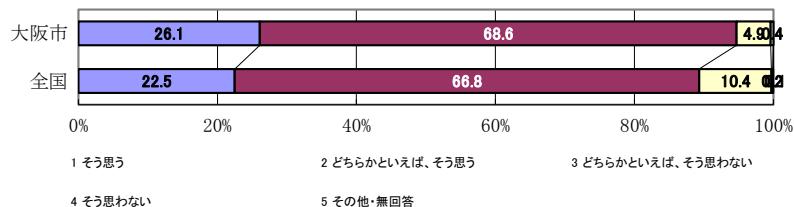
学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択

